

平成17年3月期 第1四半期財務・業績の概況(連結)



平成16年8月10日

上場会社名 株式会社 九州親和ホールディングス (コード番号: 8340 東証第一部・福証)
(URL http://www.ksfg.co.jp/)

代表者 代表取締役社長 小田 信彦 TEL: (0956)26-4105

問合せ先責任者 取締役総合企画グループマネージャー 森 三四

本開示資料に記載する四半期の数値は、監査法人による監査を受けておりません。

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
内容につきましては、資料P5の「4. 四半期財務情報作成のための基本となる事項」に記載しております。
- 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
連結(新規)-社(除外)1社 持分法(新規)-社(除外)-社
当第1四半期において、しんわシステムサービス株式会社は、株式会社親和銀行が保有する同社株式の85%をグループ外の企業へ譲渡したため、連結子会社から除外しております。

2. 平成17年3月期第1四半期財務・業績の概況(平成16年4月1日～平成16年6月30日)

四半期財務・業績の概況につきましては、今回から開示しておりますので、前年同期については記載しておりません。

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(1)経営成績(連結)の進捗状況

	経常収益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第1四半期	16,821	-	1,422	-	1,184	-
16年3月期第1四半期	-	-	-	-	-	-
(参考)16年3月期	66,177	3.6	36,809	-	34,425	-

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
17年3月期第1四半期	3.58	2.62
16年3月期第1四半期	-	-
(参考)16年3月期	114.14	-

(注)経常収益、経常利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示す。

(2)財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本 比率	1株当たり 株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第1四半期	2,594,865	97,328	3.8	220.64
16年3月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)16年3月期	2,577,272	97,152	3.8	219.74

(3)平成17年3月期の連結業績予想(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

当第1四半期における業績は概ね計画通り推移しておりますので、5月24日に公表した当中間期及び当通期の連結業績予想に変更はございません。

【添付資料】

1. (要約)四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成17年3月期 第1四半期末)	前年同四半期 (平成16年3月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 平成16年3月期末
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
現 金 預 け 金	65,386	-			93,935
コールローン及び買入手形	140,214	-			847
買 入 金 銭 債 権	5,946	-			55
商 品 有 価 証 券	184	-			67
金 銭 の 信 託	3,000	-			3,000
有 価 証 券	520,187	-			508,515
貸 出 金	1,786,048	-			1,899,672
外 国 為 替	1,795	-			2,772
そ の 他 資 産	17,870	-			16,641
動 産 不 動 産	59,354	-			60,168
繰 延 税 金 資 産	32,728	-			32,056
支 払 承 諾 見 返	35,413	-			36,522
貸 倒 引 当 金	72,686	-			76,402
投 資 損 失 引 当 金	579	-			580
資 産 の 部 合 計	2,594,865	-			2,577,272
(負債の部)					
預 渡 性 預 金	2,304,996	-			2,329,788
売 現 先 勘 定	96,548	-			46,290
売 現 先 勘 定	992	-			1,011
債 券 貸 借 取 引 受 入 担 保 金	24,037	-			29,825
借 用 金	10,757	-			11,898
外 国 為 替	14	-			9
そ の 他 負 債	9,790	-			9,015
賞 与 引 当 金	249	-			1,008
退 職 給 付 引 当 金	14,516	-			14,523
連 結 調 整 勘 定	48	-			65
支 払 承 諾	35,413	-			36,522
負 債 の 部 合 計	2,497,366	-			2,479,957
(少数株主持分)					
少 数 株 主 持 分	170	-			163
(資本の部)					
資 本 金	35,000	-			35,000
資 本 剰 余 金	89,638	-			89,638
利 益 剰 余 金	34,700	-			35,686
その他有価証券評価差額金	8,168	-			8,973
自 己 株 式	778	-			773
資 本 の 部 合 計	97,328	-			97,152
負 債、少 数 株 主 持 分 及 び 資 本 の 部 合 計	2,594,865	-			2,577,272

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 四半期財務・業績の概況につきましては、今回から開示しておりますので、前年同期については記載しておりません。

2.(要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成17年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成16年3月期 第1四半期)	増 減		(参考) 平成16年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
経 常 収 益	16,821	-			66,177
資 金 運 用 収 益	13,918	-			55,798
(うち貸出金利息)	(12,230)	(-)	()		(51,349)
(うち有価証券利息配当金)	(1,675)	(-)	()		(4,390)
役 務 取 引 等 収 益	1,902	-			7,129
そ の 他 業 務 収 益	729	-			666
そ の 他 経 常 収 益	271	-			2,583
経 常 費 用	15,399	-			102,986
資 金 調 達 費 用	896	-			3,642
(うち預金利息)	(463)	(-)	()		(2,419)
役 務 取 引 等 費 用	836	-			3,405
そ の 他 業 務 費 用	122	-			22
営 業 経 費	8,575	-			35,713
そ の 他 経 常 費 用	4,968	-			60,202
経 常 利 益 (は 経 常 損 失)	1,422	-			36,809
特 別 利 益	613	-			1,528
特 別 損 失	445	-			1,226
税金等調整前四半期(当期)純利益 (は税金等調整前四半期(当期)純損失)	1,589	-			36,507
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	397	-			128
法 人 税 等 調 整 額	-	-			2,221
少 数 株 主 利 益	7	-			10
四 半 期 (当 期) 純 利 益 (は四半期(当期)純損失)	1,184	-			34,425

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 四半期財務・業績の概況につきましては、今回から開示しておりますので、前年同期については記載しておりません。

3. 四半期連結剰余金計算書

(単位：百万円)

	当四半期 (平成17年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成16年3月期 第1四半期)	(参考) 平成16年3月期
区 分	金 額	金 額	金 額
(資本剰余金の部)			
資本剰余金期首残高	89,638	-	89,638
資本剰余金増加高	-	-	-
資本剰余金減少高	-	-	-
資本剰余金期末残高	89,638	-	89,638
(利益剰余金の部)			
利益剰余金期首残高	35,686	-	639
利益剰余金増加高	1,184	-	-
四半期(当期)純利益	1,184	-	-
利益剰余金減少高	198	-	36,325
四半期(当期)純損失	-	-	34,425
配 当 金	187	-	1,900
連結子会社の減少に伴う剰余金減少高	10	-	-
利益剰余金期末残高	34,700	-	35,686

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 四半期財務・業績の概況につきましては、今回から開示しておりますので、前年同期については記載しておりません。

4. 四半期財務情報作成のための基本となる事項

当社は、中間（連結）財務諸表等の作成基準をベースに、以下のとおり投資者等の利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で一部「簡便な手続き」を採用して四半期業績の概況を作成しております。

【簡便な手続きの内容】

- (1) 貸倒引当金につきましては、平成16年3月末の自己査定結果をベースに、当第1四半期中に倒産、不渡り、廃業等の客観的な事実があった債務者について債務者区分を見直すなど暫定的に算出した債務者区分に基づいて計上しております。
- (2) 当第1四半期の税金費用につきましては、簡便的に法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しており、法人税等調整額は法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

5. セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

連結会社は銀行業以外の事業を一部で営んでおりますが、それらの事業の全セグメントに占める割合が僅少であるため、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

【所在地別セグメント情報】

在外支店及び在外子会社がないため、所在地別セグメント情報は記載しておりません。

以 上

平成16年度第1四半期決算 説明資料

1. 平成16年度第1四半期損益概況(親和銀行単体)

・平成16年度第1四半期は、基礎的収益力であるコア業務純益は60億円、経常利益は18億円となりました。また、四半期純利益は6億円となり、平成16年度第1四半期の損益は概ね業績予想のとおり順調に推移しております。

	平成16年度 第1四半期	平成16年度 中間期(予想)	平成15年度 中間期(実績)
業務粗利益	149		291
資金利益	133		274
役員取引等利益	9		15
その他業務利益	5		1
(うち国債等債券関係損益)	4		0
経費(除く臨時処理分)	83		185
コア業務純益	60	105	105
一般貸倒引当金繰入額	-		46
業務純益	65	105	59
臨時損益	46		322
うち不良債権処理額	48	80	312
(貸倒償却引当費用 +)	48	80	358
うち株式等関係損益	2		0
経常利益(は経常損失)	18	23	263
特別損益	7		2
税引前四半期(中間)純利益 (は税引前中間純損失)	11		266
税金費用	4		47
四半期(中間)純利益 (は中間純損失)	6	8	218

(注) 1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

2. コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券関係損益

3. 税金費用 = 法人税、住民税及び事業税 + 法人税等調整額

2. 「金融再生法ベースのカテゴリーによる開示」

・平成16年6月末の「金融再生法開示債権(単体)」は、16年3月末比103億円減少しました。

(1) 親和銀行単体

	(単位：億円)		(参考) (単位：億円)
	平成16年6月末	平成15年6月末	平成16年3月末(実績)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	471	516	510
危険債権	1,018	987	1,083
要管理債権	604	712	604
合計	2,093	2,216	2,197

(注) 上記の各四半期末計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しておりますが、集計方法については以下の点につき年度末に開示する計数とは異なるため、計数は連続しておりません。

- 各四半期末の「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」および「危険債権」の金額は、それぞれ各年3月末時点における金額(債務者区分()残高)をベースとし、各年3月末から6月末までに倒産、不渡り、廃業等の客観的な事実があった債務者について、当行の定める自己査定基準に基づき債務者区分の見直しを行ない、債務者区分が下方に変更になったと認められる債務者に対する債権額を新たに加算、または「危険債権」を減額し「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」を加算しております。

また、各四半期末については、当該四半期中の実行・回収等の変動は勘案しておりますが、償却・引当見込額および担保処分見込額等の変動については勘案しておりません。

債務者区分との関係

- ・破産更生債権及びこれらに準ずる債権(実質破綻先、破綻先の債権)
- ・危険債権(破綻懸念先の債権)
- ・要管理債権(要注意先のうち、元本又は利息の支払いが3カ月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権)

- 各四半期末の「要管理債権」の金額は、同様に、各年3月末時点における金額をベースとし、同年3月末から6月末の間に正常先、要注意先の債務者に対する債権のうち新たに3カ月以上延滞となった債権、新たに貸出条件を緩和したことを確認している債権を加算し、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」および「危険債権」に変更になった金額を減算しております。

また、各四半期末については、当該四半期中の実行・回収等の変動を勘案しております。

(2) 親和銀行連結

	(単位：億円)		(参考) (単位：億円)
	平成16年6月末	平成15年6月末	平成16年3月末(実績)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	477		513
危険債権	1,018		1,083
要管理債権	604		604
合計	2,099		2,199

(注) 平成15年6月末については、計数を算出していないため記載しておりません。

3. 自己資本比率（国内基準・九州親和ホールディングス連結）

・平成16年9月末の連結自己資本比率は、16年3月末比0.19%上昇の6.5%程度を予想しております。

	平成16年9月末(予想値)	(参考) 平成16年3月末(実績)
連結自己資本比率	6.5%程度	6.31%
連結Tier比率	5.6%程度	5.48%

(注) 上記予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

4. 時価のある有価証券の評価差額（親和銀行連結）

・平成16年6月末における有価証券評価差額は、158億円の評価益となりました。

評価差額

	平成16年6月末				平成15年6月末				(参考) 平成16年3月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	5,123	158	196	38	4,766	81	149	67	4,960	176	210	33
株式	503	94	109	15	392	5	45	51	496	84	100	15
債券	3,851	35	47	11	3,654	77	85	8	3,784	44	56	12
その他	768	27	39	11	719	9	17	7	679	46	53	6

- (注) 1. 平成15年6月末につきましては、親和銀行単体の計数を記載しております。
 2. 各四半期末の「評価差額」および「含み損益」は、それぞれ各四半期末時点の帳簿価額（平成15年6月末は償却原価法適用前、減損処理前。）と時価との差額を計上しております。
 3. 有価証券のほか、譲渡性預け金およびコマーシャル・ペーパー等も含めております。
 4. なお、満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式に係る含み損益は該当ありません。

5. デリバティブ取引（親和銀行連結）

(1) 金利関連取引

区分	種類	平成16年6月末			平成15年6月末			(参考) 平成16年3月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
取引所		-	-	-	-	-	-	-	-	-
店頭	金利スワップ	93	2	2	134	5	5	107	3	3
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計			2			5			3

(注) ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

(2) 通貨関連取引

区分	種類	(単位:億円)			(参考) (単位:億円)					
		平成16年6月末			平成15年6月末			平成16年3月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
取引所	通貨先物	-	-	-	-	-	-	-	-	-
店頭	通貨スワップ	288	1	1	189	0	0	314	1	1
	為替予約	8	0	0	4	0	0	57	0	0
	通貨オプション	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計			1			0			1

(注) ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

(3) 株式関連取引

区分	(単位:億円)			(参考) (単位:億円)					
	平成16年6月末			平成15年6月末			平成16年3月末		
	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
取引所	-	-	-	0	0	0	-	-	-
店頭	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計		-			0			-

(注) ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

(4) 債券関連取引

区分	(単位:億円)			(参考) (単位:億円)					
	平成16年6月末			平成15年6月末			平成16年3月末		
	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
取引所	-	-	-	-	-	-	-	-	-
店頭	24	0	0	-	-	-	-	-	-
	合計		0			-			-

(注) ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

(5) 商品関連取引

該当ありません。

(6) クレジットデリバティブ取引

区分	(単位:億円)			(参考) (単位:億円)					
	平成16年6月末			平成15年6月末			平成16年3月末		
	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
店頭	10	0	0	10	0	0	10	0	0
	合計		0			0			0

(注) ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

6. 預金等・貸出金の残高（親和銀行単体）

- ・預金等は、平成16年3月末比250億円の増加となりました。
- ・貸出金は、法人及び公金の季節的な資金需要の減少等により、平成16年3月末比1,136億円の減少となりました。

	(単位:億円)			(参考) (単位:億円)	
	平成16年6月末	平成16年3月末比	平成15年6月末比	平成16年3月末	平成15年6月末
預金等(譲渡性預金含む)	24,029	250	1,146	23,778	25,176
うち流動性預金	9,719	4	155	9,723	9,563
うち定期性預金	14,310	255	1,302	14,054	15,612
うち個人預金	16,142	89	518	16,052	16,661
うち個人以外預金	7,886	160	628	7,725	8,514
貸出金	17,879	1,136	1,144	19,015	19,023
うち中小企業等	15,778	717	868	16,496	16,647

- (注) 1. 譲渡性預金は定期性預金に含めて記載しております。
2. 平成15年6月末は、本支店間未達勘定整理前の計数です。

7. 預り資産（親和銀行単体）

- ・預り資産は、5月に合併1周年記念ファンド「しんわGOGOファンド」(投資信託)を72億円販売するなど、積極的に推進した結果、平成16年3月末比100億円増加し、471億円となりました。

	(単位:億円)			(参考) (単位:億円)	
	平成16年6月末	平成16年3月末比	平成15年6月末比	平成16年3月末	平成15年6月末
預り資産	471	100	288	371	183
うち投資信託	199	56	117	143	82
うち個人年金保険	120	35	115	84	4
うち公共債	132	12	44	119	87
うち外貨預金	19	3	10	23	9

8. 親和銀行財務諸表

(1) 経営指標等

株式会社 親和銀行

			当四半期 (平成17年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成16年3月期 第1四半期)	(参考) 平成16年3月期
連結 経営 成績	経 常 収 益	百万円	17,395	-	68,247
	経 常 利 益 (は 経 常 損 失)	百万円	1,843	-	35,383
	四 半 期 (当 期) 純 利 益 (は 四 半 期 (当 期) 純 損 失)	百万円	652	-	34,297
	1 株 当 たり 四 半 期 (当 期) 純 利 益 (は 1 株 当 たり 四 半 期 (当 期) 純 損 失)	円	2.13	-	111.84
	潜 在 株 式 調 整 後 1 株 当 たり 四 半 期 (当 期) 純 利 益	円	1.44	-	-
連結 財 政 状 態	総 資 産	百万円	2,620,069	-	2,603,157
	株 主 資 本	百万円	107,248	-	107,733
	株 主 資 本 比 率	%	4.1	-	4.1
	1 株 当 たり 株 主 資 本	円	251.89	-	253.47

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 四半期財務・業績の概況につきましては、今回から開示しておりますので、前年同期については記載しておりません。

(2) (要約)四半期連結貸借対照表

株式会社 親和銀行

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成17年3月期 第1四半期末)	前年同四半期 (平成16年3月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 平成16年3月期末
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
現 金 預 け 金	65,386	-			93,935
コールローン及び買入手形	140,214	-			847
買 入 金 銭 債 権	5,946	-			55
商 品 有 価 証 券	184	-			67
金 銭 の 信 託	3,000	-			3,000
有 価 証 券	520,232	-			508,564
貸 出 金	1,786,048	-			1,899,672
外 国 為 替	1,795	-			2,772
そ の 他 資 産	17,575	-			16,302
動 産 不 動 産	74,382	-			75,916
繰 延 税 金 資 産	43,153	-			42,483
支 払 承 諾 見 返	35,413	-			36,522
貸 倒 引 当 金	72,686	-			76,402
投 資 損 失 引 当 金	579	-			580
資 産 の 部 合 計	2,620,069	-			2,603,157
(負債の部)					
預 金	2,306,114	-			2,331,100
譲 渡 性 預 金	96,548	-			46,290
売 現 先 勘 定	992	-			1,011
債券貸借取引受入担保金	24,037	-			29,825
借 用 金	10,757	-			11,898
外 国 為 替	14	-			9
そ の 他 負 債	9,751	-			8,992
賞 与 引 当 金	247	-			997
退 職 給 付 引 当 金	11,584	-			11,352
再評価に係る繰延税金負債	17,140	-			17,197
連 結 調 整 勘 定	48	-			65
支 払 承 諾	35,413	-			36,522
負 債 の 部 合 計	2,512,650	-			2,495,261
(少数株主持分)					
少 数 株 主 持 分	170	-			163
(資本の部)					
資 本 金	20,915	-			20,915
資 本 剰 余 金	37,511	-			62,383
利 益 剰 余 金	13,262	-			12,341
土 地 再 評 価 差 額 金	25,248	-			25,332
その他有価証券評価差額金	10,310	-			11,443
資 本 の 部 合 計	107,248	-			107,733
負 債、少 数 株 主 持 分 及 び 資 本 の 部 合 計	2,620,069	-			2,603,157

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 四半期財務・業績の概況につきましては、今回から開示しておりますので、前年同期については記載しておりません。

(3) (要約)四半期連結損益計算書

株式会社 親和銀行

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成17年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成16年3月期 第1四半期)	増 減		(参考) 平成16年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
経 常 収 益	17,395	-			68,247
資 金 運 用 収 益	14,283	-			57,697
(うち貸出金利息)	(12,230)	(-)	()		(51,349)
(うち有価証券利息配当金)	(2,040)	(-)	()		(6,289)
役 務 取 引 等 収 益	1,902	-			7,129
そ の 他 業 務 収 益	729	-			669
そ の 他 経 常 収 益	481	-			2,751
経 常 費 用	15,552	-			103,630
資 金 調 達 費 用	896	-			3,642
(うち預金利息)	(463)	(-)	()		(2,419)
役 務 取 引 等 費 用	836	-			3,405
そ の 他 業 務 費 用	122	-			39
営 業 経 費	8,703	-			36,156
そ の 他 経 常 費 用	4,993	-			60,386
経 常 利 益 (は 経 常 損 失)	1,843	-			35,383
特 別 利 益	603	-			1,467
特 別 損 失	1,311	-			2,124
税金等調整前四半期(当期)純利益 (は税金等調整前四半期(当期)純損失)	1,135	-			36,039
法人税、住民税及び事業税	475	-			91
法人税等調整額	-	-			1,844
少数株主利益	7	-			10
四半期(当期)純利益 (は四半期(当期)純損失)	652	-			34,297

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 四半期財務・業績の概況につきましては、今回から開示しておりますので、前年同期については記載しておりません。

(4) 四半期連結剰余金計算書

株式会社 親和銀行

(単位：百万円)

	当四半期 (平成17年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成16年3月期 第1四半期)	(参考) 平成16年3月期
区 分	金 額	金 額	金 額
(資本剰余金の部)			
資 本 剰 余 金 期 首 残 高	62,383	-	15,936
資 本 剰 余 金 増 加 高	-	-	46,446
合併に伴う剰余金増加高	-	-	46,446
資 本 剰 余 金 減 少 高	24,871	-	-
資 本 準 備 金 取 崩 額	24,871	-	-
資 本 剰 余 金 期 末 残 高	37,511	-	62,383
(利益剰余金の部)			
利 益 剰 余 金 期 首 残 高	12,341	-	19,138
利 益 剰 余 金 増 加 高	25,608	-	4,081
四半期(当期)純利益	652	-	-
資 本 準 備 金 取 崩 額	24,871	-	-
土地再評価差額金取崩額	83	-	3,191
合併に伴う剰余金増加高	-	-	833
連結子会社の合併に伴う剰余金増加高	-	-	24
連結子会社の増加に伴う剰余金増加高	-	-	31
利 益 剰 余 金 減 少 高	3	-	35,561
四半期(当期)純損失	-	-	34,297
配 当 金	-	-	1,200
連結子会社の増加に伴う剰余金減少高	-	-	63
連結子会社の減少に伴う剰余金減少高	3	-	-
利 益 剰 余 金 期 末 残 高	13,262	-	12,341

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 四半期財務・業績の概況につきましては、今回から開示しておりますので、前年同期については記載しておりません。

以 上